慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	労働力不足時代における国内中小企業の直面する課題と今後の戦略に関する研究
Sub Title	Research on the Japanese SMEs' business in the serious labour shortage
Author	植田, 浩史(Ueda, Hirofumi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	研究の初年度にあたる2018年度は、東京近辺と島根県の主に製造業中小企業を訪問し、労働力不足の現状とそれに対しどのような対応を行っているのかを調査した。また年度末には、中国蘇州市の日系企業を訪問し、労働力不足と中国での事業展開の関係について調査を行った。その結果、労働力不足問題は地域や産業によっても現れ方が異なること、中小企業においては、情報技術投資や自動化投資などが進んでいることが明らかになった。また、地方の製造業においては、外国人研修生の利用も広がりを見せている。 労働力不足の下での中小企業の問題としては、第1に、労働力不足が深刻化するほど、中小企業での採用はより困難になっていることがある。一般に中小企業は大企業と比べて認知度が低く、採用を行う段階ですでに困難に直面している。第2に、労働力不足は、高齢化が進んでいる中小企業が廃業を選択する理由となっている。こうした廃業の促進が、従来ネットワークを活用することで事業活動を展開した中小企業に、さらに打撃となっている。ネットワークを利用できないことで事業を継続することができず、そのことがさらに廃業を増やしている。 今後の中小企業の労働力不足への対応として求められるのは、第1に情報技術投資や自動化投資などである。情報技術投資や自動化投資は、製造業、商業、サービス業などあらゆる産業に求められる課題であり、技術進歩を積極的に取り入れることで可能なことは少なくない。第2は、従業員教育を通じた従業員のスキルアップによる生産性の向上である。中小企業でも大企業と同様に、若手社員の計画的採用と教育によるスキルアップを進めている企業が増えてきていることが確認された。 第3に、労働力不足問題を、中小企業であっても短期的な視点から考えるのではなく、中長期的な視点から総合的に捉えていくことである。中小企業の発展戦略と関連付けて、戦略的に捉えていくことが必要である。 In 2018, the first year of my project, I carried out some researches on manufacturing SMEs in Kanto area and Shimane about the labour shortage problems. And in March, 2019, I also visited some Japanese SMEs in Suzhou, China, and researched their businesses. From these researches I understood that the labour shortage problems depend on the areas and the industries. On the other hand, we can see many cases of IT and automation investment of SMEs in many industries. In the local areas more SMEs employ more foreign workers due to labour shortage. Japanese SMEs are faced with these problems about the labour shortage. Firstly, the harsher the labour shortage is, the harder for the SMEs to employ workers. Secondly, due to the labour shortage SMEs are confronted with danger to stop their businesses because SMEs businesses are often linked with other SMEs businesses. From my researches about the SMEs, SMEs have to invest their more money in IT and automation with improved technologies to survive. And also SMEs have to employ younger employees aggressively amd train them to improve their abilities in companies.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180142

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年 4 月 8 日

2018 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	経済学部	職名	教授	補助額	200 （B）千円
	氏名	植田 浩史	氏名（英語）	UEDA Hirofumi		

研究課題（日本語）

労働力不足時代における国内中小企業の直面する課題と今後の戦略に関する研究

研究課題（英訳）

Research on the Japanese SMEs' business in the serious labour shortage

１．研究成果実績の概要

研究の初年度にあたる 2018 年度は、東京近辺と島根県の主に製造業中小企業を訪問し、労働力不足の現状とそれに対しどのような対応を行っているのかを調査した。また年度末には、中国蘇州市の日系企業を訪問し、労働力不足と中国での事業展開の関係について調査を行った。その結果、労働力不足問題は地域や産業によっても現れ方が異なること、中小企業においては、情報技術投資や自動化投資などが進んでいることが明らかになった。また、地方の製造業においては、外国人研修生の利用も広がりを見せている。

労働力不足の下での中小企業の問題としては、第 1 に、労働力不足が深刻化するほど、中小企業での採用はより困難になっていることがある。一般に中小企業は大企業と比べて認知度が低く、採用を行う段階ですでに困難に直面している。第 2 に、労働力不足は、高齢化が進んでいる中小企業が廃業を選択する理由となっている。こうした廃業の促進が、従来ネットワークを活用することで事業活動を展開した中小企業に、さらに打撃となっている。ネットワークを利用できないことで事業を継続することができず、そのことがさらに廃業を増やしている。

今後の中小企業の労働力不足への対応として求められるのは、第 1 に情報技術投資や自動化投資などである。情報技術投資や自動化投資は、製造業、商業、サービス業などあらゆる産業に求められる課題であり、技術進歩を積極的に取り入れることで可能なことは少なくない。第 2 は、従業員教育を通じた従業員のスキルアップによる生産性の向上である。中小企業でも大企業と同様に、若手社員の計画的採用と教育によるスキルアップを進めている企業が増えてきていることが確認された。

第 3 に、労働力不足問題を、中小企業であっても短期的な視点から考えるのではなく、中長期的な視点から総合的に捉えていくことである。中小企業の発展戦略と関連付けて、戦略的に捉えていくことが必要である。

２．研究成果実績の概要（英訳）

In 2018, the first year of my project, I carried out some researches on manufacturing SMEs in Kanto area and Shimane about the labour shortage problems. And in March, 2019, I also visited some Japanese SMEs in Suzhou, China, and researched their businesses. From these researches I understood that the labour shortage problems depend on the areas and the industries. On the other hand, we can see many cases of IT and automation investment of SMEs in many industries. In the local areas more SMEs employ more foreign workers due to labour shortage.

Japanese SMEs are faced with these problems about the labour shortage. Firstly, the harsher the labour shortage is, the harder for the SMEs to employ workers. Secondly, due to the labour shortage SMEs are confronted with danger to stop their businesses because SMEs businesses are often linked with other SMEs businesses.

From my researches about the SMEs, SMEs have to invest their more money in IT and automation with improved technologies to survive. And also SMEs have to employ younger employees aggressively amd train them to improve their abilities in companies.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）
植田浩史	自動車産業における下請問題についての考察	日本中小企業学会第 38 回全国大会	2018 年 9 月